

# 【教育実習講義】 (MB601-TC41)

[教職課程 必修科目 (配当年次: 3・4 学年)]

単 位: 1 単位	単位認定者: 西村宗一郎
授業期間: 通年 15 コマ	科目分担者: 山本明利 田中保樹
授業形態: 講義 集中	

科 目	教育実践に関する科目
各科目に含めることが必要な事項	教育実習

授業の目的 教育実習に際し、その目標が十分に達成できるように補完する。

教育内容 (1) 事前講義  
これまで教職課程で学習した教職に関する理論に触れながら、一教師として教育活動に参加する基本的な心構えと、生徒指導・教科指導の実践に即した指導方法を身に付ける。  
(2) 事後講義  
教育実習での体験を基にした発表を行い、その成果や課題を共有する。また、各自の発表や振り返りなどから、教職そのものを改めて考える機会とする。

教育方法  
○講義形式による教育実習に関する総括的な講話  
○実際の中学校又は高等学校における事前の実習 (短期のインターンシップ等)  
○模擬授業の実践と、その相互評価と協議  
○実習での体験を基にした発表  
【フィードバック方法】学習指導案と模擬授業に関しては講義内で個別にコメントし、学生による相互評価も返す。

## 講義内容 (シラバス)

回	項 目	担当者	授業内容
1 回	教育実習に向けての総括的な講話 (1)	西村、山本、田中	教職課程で学習した教職に関する理論について、復習と確認を行う。
2 回	教育実習に向けての総括的な講話 (2)	西村、山本、田中	教科指導、生徒指導、学級経営、学校運営等についての実践的な指導方法を学ぶ。
3 回	教育実習に向けての総括的な講話 (3)	西村、山本、田中	教員に求められる資質・能力や態度、今後の教育の在り方などについて、グループで協議することで、教職についての理解を深める。
4 回	「主体的・対話的で深い学び」を学ぶ (1)	西村、山本、田中	教育委員会の指導主事や熟達した教員などによる規範授業と講義、質疑応答を通して、「主体的・対話的で深い学び」について学ぶ。
5 回	「主体的・対話的で深い学び」を学ぶ (2)	西村、山本、田中	「主体的・対話的で深い学び」を実現する教育方法について、グループで協議することで理解を深める。
6 回	「主体的・対話的で深い学び」を学ぶ (3)	西村、山本、田中	「主体的・対話的で深い学び」における評価などの課題について、グループで協議することで理解を深める。
7 回	模擬授業の実践 (1)	西村、山本、田中	① 実習校が高等学校 (物理) 対象者による学習指導案の作成と模擬授業を行う。 ② ①についての相互評価と協議を行う。
8 回	模擬授業の実践 (2)	西村、山本、田中	① 実習校が高等学校 (化学) 対象者による学習指導案の作成と模擬授業を行う。 ② ①についての相互評価と協議を行う。
9 回	模擬授業の実践 (3)	西村、山本、田中	① 実習校が高等学校 (生物) 対象者による学習指導案の作成と模擬授業を行う。 ② ①についての相互評価と協議を行う。
10 回	事前の実習 (1) 又は 模擬授業の実践 (4)	西村、山本、田中	中学校又は高等学校における事前の実習 (短期インターンシップ) 又は ① 実習校が中学校対象者による学習指導案の作成と模擬授業を行う。 ② ①についての相互評価と協議を行う。
11 回	事前の実習 (2) 又は 模擬授業の実践 (5)	西村、山本、田中	中学校又は高等学校における事前の実習 (短期インターンシップ) 又は ① 実習校が高等学校対象者による学習指導案の作成と模擬授業を行う。 ② ①についての相互評価と協議を行う。

12回	事前の実習(3) 又は 模擬授業の実践(6)	西村、山本、 田中	中学校又は高等学校における事前の実習(短期インターンシップ) 又は ① 実習校が中高一貫校や中等教育学校対象者による学習指導案の作成と模擬授業を行う。 ② ①についての相互評価と協議を行う。”
13回	模擬授業の実践(7)	西村、山本、 田中	① 実習校が中学校(第1分野)対象者による学習指導案の作成と模擬授業を行う。 ② ①についての相互評価と協議を行う。
14回	模擬授業の実践(8)	西村、山本、 田中	① 実習校が中学校(第2分野)対象者による学習指導案の作成と模擬授業を行う。 ② ①についての相互評価と協議を行う。
15回	教育実習の報告	西村、山本、 田中	教育実習で学んだことを基に、3年次生に対する教育実習に向けての準備や課題などについて、体験の報告をする。

到達目標	学校教育、特に生徒指導、教科指導の望ましい在り方についての理解を深め、実践的な指導力を身に付ける。また、教育実習の体験を基にした発表を通して、求められる教育の在り方や教員としての資質能力などについての理解を深める。
評価基準	授業やまとまりごとの提出物(レポートや学習指導案など)、授業への取組の状況などを総合的に評価し評定する。
準備学習 (予習・復習)	○予習(120分) 模擬授業に際しては、十分な教材研究を行い、綿密な学習指導案を作成して臨むようにする。 ○復習(120分) 教育実習後に、教育実習レポートと教育実習についてのアンケートを提出する。
その他	○教師である自分をイメージして、教職を目指す者としてふさわしい態度で授業に臨むようにする。 ○実際の中学校又は高等学校における事前の実習(短期のインターンシップ)に参加しなかった場合は、模擬授業の実践における3回の授業(10回、11回、12回)に出席する。

	(書名)	(著者名)	(出版社名)	(定価)
教科書	なし(必要な資料は授業時に配付する)			
参考書	教育実習で使用使用する教科書			
参考書	小学校学習指導要領(平成29年告示) 解説 理科編	文部科学省	東洋館出版社 文部科学省 WEB サイトに 公開	111円+税
参考書	中学校学習指導要領(平成29年告示) 解説 理科編	文部科学省	学校図書 文部科学省 WEB サイトに 公開	108円+税
参考書	高等学校学習指導要領(平成30年告示) 解説 理科編・理数科編	文部科学省	実教出版株式会社 文部科学省 WEB サイトに 公開	529円+税
参考書	高等学校学習指導要領(平成30年告示) 解説 理数編	文部科学省	東京書籍 文部科学省 WEB サイトに 公開	950円+税
参考書	「指導と評価の一体化」のための学習評価に 関する参考資料 小学校理科	国立教育政策研究所	東洋館出版社 国立教育政策研究所 WEB サイトに公開	1,100円+税
参考書	「指導と評価の一体化」のための学習評価に 関する参考資料 中学校理科	国立教育政策研究所	東洋館出版社 国立教育政策研究所 WEB サイトに公開	900円+税